

れいわ新選組機関誌

れいわPRESS 第9号

2025年7月31日発行

参議院選挙2025を終えて
山本太郎代表よりメッセージ



<https://reiwa-shinsengumi.com/>



れいわ新選組の候補者の活動を
多方面から支えてくださった皆さん、
ボランティアの皆さんには
各地でそれぞれ本当に奮闘して下さりました。
戦い抜けたのは皆さんのおかげです。



1番のボランティアは誰かと考えると、やはり私は候補者の皆さんだったのではないかと考えています。

自分の人生を一度横に置いて、表舞台に。しかも前から後ろからも矢しか飛んでこないというような立ち位置。れいわ新選組から出馬するということは、ある意味、そういうことだと思えます。

一切の忖度なしに、必要なものを必要だと言いつける政党でございます。バックに宗教も経済団体もその他の団体もついていない。私たちがお仕えるのは、この国に生きる人々ですから。

そういったスタンス、当然敵が増えるわけです。私たちの足を引っ張ろうとする者たちは非常に多くなる。

だから私たちは本質的なことしか、ほとんど言っていない。

まずはこの国の経済再生。

そのためには、一人ひとりの国民生活の底上げが必要だということをずっと言い続けてきました。それを嫌がる人たちもいます、当然です。

国から出せる金を庶民に回すな、俺たちの利益に回せという勢力たちからは、やっぱり嫌われるわけですね。

一方で、庶民の声を聞いているような皮をかぶって、「新しい党です」という姿をした者たちもいますけど、大きな間違いです。バックには様々な大企業がついていたり、その大企業とねんごろと言いますか、一心同体みたいな者もいらっしゃいます。

そんな中、れいわ新選組から立候補をするというのは、かなり勇気のいることだと思います。

今回、24人の候補者の方々、みんなの思いを背負って勇気を持って手をあげてください、本当にありがとうございました。

山本太郎代表より、 参議院選挙2025を終えて

2025年7月20日に生中継された「参院選2025 れいわ新選組開票特番！」より





全国のボランティアの
皆様の力がなければ
戦い抜くことは
できませんでした

新宿のボランティアセンターでは、30日間で、延べ2504名の方々にお手伝いをいただきました。証紙を貼ったり、チラシを折ったり、発送作業、電話かけなどお力を尽くしていただきました。
ボランティアセンターからだけでなく、全国からボランティアさんが電話をかけてくださいました。
ポスター1万5000枚と、確認団体チラシ344万5000枚。これだけの数をボランティアの皆様の手で、配布、掲示いただいた。
表には見えづらいという場所で一人ひとりが動いてくださったということ、多くの人々の目に触れることになりました。

街宣車の運行

全国各地で選挙区の候補者カー8台、比例19台、確認団体カー8台が、全国を走りました。

ドライバー役をかって出てくださいった方、マイクを握ってれいわの政策などを伝えてくださった方、街宣車の周囲でチラシを配布してくださいった方、その運行計画などを考えてくださった皆さん、多くの方々によってれいわ新選組の存在をアピールしていただきました。

今回は、れいわというキーワードがマスコミからあがらない状態。逆に、あいつら弱つとるで！ という逆風の中で、皆さんの力でれいわを盛り上げてくれました。



ネットでの広がり

私たちが話したことが文字化される、テキスト化されることが非常に重要でした。我々の文字起こしチーム、力を貸してくださいっている方は国内だけじゃないんです。

国外の在留邦人の方々、ボランティアさんを含む皆さんのお力によって街宣での内容、喋った内容が昼夜問わず即日文字起こしされる。ものすごく優れた文字起こしチームのみなさんによって支えられています。

それを元にショートムービーに字幕がついたり、スピーチのバナーへの展開になったりと大きく手助けをいただきました。選挙戦の最終日は24時を超えると選挙運動ができないんですけど、マイクオフから4時間以内に文字起こしが公開されるといって、もう脅威ですね。

皆さんのご尽力なしにはこれはなし得ませんでした。

動画編集、字幕入れ、切り抜き。SNS上で多数のショート動画等を発信する。

ネット選挙でのボランティアの皆さんの活動力は、れいわはそのトップランナーを走ってきました。マスコミで足りない部分があるんだつたら、こっちで出していきませんかよねと、その心意気で拡大してくださいました。



あなたが動いてくれたから

本当にややこしい選挙戦でした。

マスコミ、各政党も、1番の争点の部分
をずらしながら前に進んできた。

資本主義、株主市場主義、そういったも
のと抗うことに関して、ど真ん中を行っ
るのがれいわ新選組なんです。



だからこそ私たちの主張は選挙のメイ
ン争点にはなかなかならない。当たり前で
すね。メディアというのは基本的には資本
に買われたものだから。

経済問題という部分を大きく出されてし
まうのは、彼らにとつては1番おいしくな
い話。やはりこの世界に存在する富を独占
し続けるというのが、社会を握っている者
たちの考えでしょうから。そこに対して徹
底的に抗っていくのが、れいわ新選組の
姿勢です。

6年間おれずにこれをやってきたんです。
私たちには、風など一度も吹いたことが
ない。常に逆境の選挙で、私たちは数を増
やしてきた。

前回の選挙よりも数が増える、これは間
違いなく前進です。これができたのは、れ
いわ新選組の議員がどうしたとか、そ



う話じゃないです。あなたです。

あなたが動いてくれたから、あなたが広
げてくれたから、あなたが助けてくれたか
ら前に進めたんだ。そして今回も勝つこと
ができたんだ、と思います。

これだけ逆風が強かった選挙の中でも議
席を積み増せたということは、ある意味で
奇跡。

その奇跡を起こしたのはあなただとい
うことです。

失われた30年を40年にしないために

本当にひどい世の中です。

経済災害30年、その中でコロナがきても物価高がきても国民切り捨て。若い人たちに、社会保険料を下げるかわりに高齢者を殺します、みたいなことを言っている。社会保険料を下げる改革ってそういうことですよ。

高齢者の5人に1人が貧困です。高齢者が占める消費のシェアは39%。高齢者が貧しくなれば、誰かの消費が誰かの所得に回るような循環も薄れてしまうってこと。

高齢者の首をしめるといふことは、その後ろにいるロストジェネレーション世代だつたり様々な人たちの首もしまる。高齢者に関係する仕事をしている若い人たちの首もしめるってこと。

高齢者とそうではない者たちの間に分断を作り出して、あいつらは儲かりすぎている、あいつらだけいい思いをしている、あいつらから引きはがせ、それを若いものに渡すんだと。現役世代を応援？ いい加減にしろよって。

全部の世代が足りてないんだよ。

所得税に関する壁が103万円から160万円になりましたよ、もつと働けますよって。ふざけんなですよ。誰が喜ぶんですかそれ。資本家だけじゃないですか。

今、国がやるべきことは働かずしても使えるお金を増やすこと。賃労働者以外も使えるお金を増やすこと。そうじゃないと、失われた30年が40年になるしかないじゃないですか。

高齢者の5人に1人が貧困で、1人暮らしの女性4人に1人が貧困で、国民全体で見たら6割の生活が苦しい。中間層まで崩れている。しかもこの1年の間に1万件以上の中小企業が潰れていて、業種で見ると少なくとも28業種での最多倒産。

ここで、たったの2万円を差し上げるとか、1年間だけ食料品だけ減税とか、本当に国が殺しに来ているなと思います。

生かさず殺さずじゃない、そんな時期はもう過ぎてるってこと。だから、私たちがいわ新選組がそれを取り戻しに行こうじゃないかと。資本家は潰れるとか、株主は死ねなんて思っていますよ。大企業は儲ければいい。

だけど、国民を殺すなよって。Win-winになるようにしろよ。決して難しいことじゃないはず。当たり前前に庶民を生活させろ、そのための戦いですよ。何も難しい戦いじゃない。

ここから論点をずらすよとする者たちは、私は人々の側には立ってないと思う。もう十分儲けただろう、消費税でおいしい思いをしただろう。だったら一旦やめにしようぜ、と。

みんなが消費税減税ですって言い出しましたが、言ってもいいけどちゃんとやれよってことなんです。日本維新の会とか国民民主党とか前の選挙で勝つてから、3月末の予算成立までに1回ずつしか消費税減税について質問してない。政府に求めてないやんって。

いろんな政党があつて、いろんな支持者がいていいんですよ。だけど、どの党の支持者であつたとしても、自分の支援した政党は最後まで約束を守らせてください。

みんなで力合わせてこの国を立て直していききたい、そう思ってます。

今回、れいわ新選組に多大なご支援をいただいた皆さん、絶対にこの国をこのままに終わらせないためにも、激しくやっつけていきましょう。これからも、楽しくやっつけていきましょう！



参議院選挙2025 れいわ新選組 再選・新任議員

再選



きむら えいこ
木村英子 (再選)

参院選2025 比例代表 (全国区) 公認候補

1965年生まれ。2019年、れいわ新選組の旗揚げの年に、参議院選挙に特定枠を利用して出馬し、国会議員に。重度訪問介護の告示の撤廃、障害者の日常生活を送る上で生きづらさを生み出している交通や住宅、建物のバリア、ハードのバリアも含め、介護や生活保護や教育など、さまざまな問題について現状を訴えてきた。今回の選挙では、特定枠ではなく、重度訪問介護を使い、全国比例枠から立候補。再選を果たした。

いせ ぎき けんじ
伊勢崎賢治 (新任)

参院選2025 比例代表 (全国区) 公認候補

1957年生まれ。東京外国語大学教授。元国連職員。2000年から国連職員としてインドネシアからの独立運動が起きていた東ティモールに赴き、国連PKO暫定行政府の県知事を務めた。2001年からシエラレオネで国連派遣団の武装解除部長を担い、内戦終結にも貢献。2003年から日本政府特別代表として、アフガニスタンの武装解除を担当した。



おく だ
奥田ふみよ (新任)

参院選2025 比例代表 (全国区) 公認候補

1977年生まれ。糸島市在住、3人の子育てをしながらピアノ講師を務める。東日本大震災と福島第一原発事故きっかけに、玄海原発再稼働差し止め要請書を提出するなど、積極的に市民活動を行っている。「全国カルト校則廃止プロジェクト」の代表として、人権上問題のある校則の廃止活動にも取り組んでいる。





れいわ新選組
HPはこちら



れいわオーナーズ
ご案内はこちら

あなたが、れいわ新選組のオーナーになりませんか？



ご寄附の受付

れいわ新選組は、皆さまからの寄附をお願いしております。頂きましたご寄附は、れいわ新選組が取り組んでいる政治活動、事務所運営費等に活用させていただきます。

れいわPRESS 第9号



発行・れいわ新選組 れいわPress編集部
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-5-20 押田ビル4階
TEL:03-6384-1974

